



毎朝の日課、ポストから新聞を取り出し、目を通すと3面の『ひろば』の欄に高校2年生3名の投稿記事が載っており、目にとまりました。一人目は「見えない障害」について、奄美にも「見えない障害」を抱えながら自分らしく生きている方がたくさんいる事、沖縄の方言で「ゆいまーる」という言葉があり、結いと廻るから来ている言葉で、助け合い、一緒に頑張ろうという意味だそうです。二人目は部活動に所属し、県大会に行く為に離島から参加するには多額の遠征費がかかる事、島には同じ部活の対戦相手が少なく、県本土に行かなければいけない状況、勝ち進む事は嬉しい事ですが、遠征費の負担がかさむ事になります。県大会を奄美でも開催したらどうかとの意見が書かれていました。三人目は三線を弾けるようになりたいという思いがあり、小学校、中学校の音楽の時間に三線を学ぶことができないのかとの意見でした。自分たちが住んでいる奄美を想い、意見を訴える事ができ、こういう若い世代の意見を無駄にせず、いつか実現出来たらとの思いで紙面を興味深く読みました。(主任：福山)

行事予定表

- 1日(日): 知根小運動会
- 2日(月): 体重・血圧測定
- 5日(木): 自治会・三賞授賞式
- 14日(土): 愛の浜園運動会
- 15日(日): 男性理髪
- 16日(月): 避難訓練
- 19日(木): 健康相談
インフルエンザ予防接種
- 23日(月): 誕生会
- 24日(火): 音楽の日
- 31日(火): ハロウィン
カラオケ大会



敬老会

9月15日(金)、多目的ホールで敬老会が行われました。今年は70歳から最高齢は82歳の8名の方々のお祝いをしました。みなさんから「おめでとうございます。」と伝えながら記念品と花かごを渡すことができました。敬老者の方々も華やかな装いで参加し、笑顔で「ありがとう、ありがたさまりよーた。」と感謝の言葉をいただきました。お互いに笑顔に満ちた、感謝と敬意を感じられた楽しい時間になりました。皆さまのご健康とご長寿を心からお祝い申し上げます。いつまでも元気でいて下さいね。(記事:坂井)

Happy Birthday

知名瀬地区 豊年相撲

9月3日(日)、知名瀬集落の豊年相撲に利用者数名で参加しました。コロナ禍で約4年ぶりの開催となり、久しぶりの行事参加で皆さん楽しそうでした。小さな子供から大人の土俵入りを観ながら一緒に掛け声をし、太鼓を叩いて応援、中入り後の八月踊りにも手ぬぐいを頭に巻いて、お花をつけて。短い時間ではありましたが、このような地域の伝統行事と一緒に楽しむことに、改めて感謝する機会となりました。これからも皆さんが楽しみを感じながら生活を送れるようサポートしていきたいと思っています。(記事:森山)

ほっこりひとコマ。

家族や友人 大切な人との時間...

外出支援

電話支援

奄美病院デイケアにて